

志免四だより

平成28年5月
第74号発行所
志免四公民館
志免町志免1丁目1-8
TEL 092-935-0466
責任者
志免四公民館主事
佐藤一男 (935-0858)

町内会長 就任あいさつ

志免四町内会会長
古賀 昭人

先日開催の「平成28年度志免四町内会定期総会」において、志免四町内会会長にご承認いただきました志免城戸3組合の古賀昭人でございます。

皆様には日頃から町内会の運営に際して、ご尽力・ご協力いただき有難うございます。改めて感謝申し上げます。

私は、これまで町内会主事として、荒谷前会長の指導の下に、町内会の運営に携わって参りました。その後をお引き受けました以上は一生懸命ベストを尽くして努める所存でございます。

さて、皆さまご案内のように、最近の社会情勢は少子高齢社会の中で、核家族化が進み「孤独死」や「引きこもり」が大きな社会問題になっております。

昔は「向こう三軒両隣」ということで助け合いの精神の文化が定着していましたが、今は当時と比べると、その「人と人との繋がり」が希薄になり、地域における人と人とのふれあいやコミュニケーションをとることが難しい状態になっていると思います。

このような状況を解消し、地域の繋がりを構築していくためには、日頃の付き合いの中で、いかに住民同士が顔見知りになり、コミュニケーションを図る場を創って行くかが大切であると思っております。

町内会で行う諸々の事業活動は、その手段であると認識しております。

そのような観点から、各種の事業は、町内会の皆さんが愉快地楽しく、そして多くの方が集え、賛同を得るような機会や場所づくりを行わなければならぬと考えております。

私は町内会役員として、平成24・25年度の2年間福祉推進委員を努め、26年度から今日に至るまでの2年間を主事として努めて参りました。

しかしながらまだまだ未熟で力不足ではありますが、4年に亘る町内会活動の経験を活かし、町内会の皆さんの安全・安心、交流と親睦を図るため、町内会の皆さんのニーズを真摯に受け止めると同時に、私自身モチベーションを高め、町内会の事業運営に積極的に取り組んで参りたいと考えております。

今年度も多くの事業を予定していますが、皆様方のご指導、ご鞭撻、ご協力をお願い申し上げます。就任に際してのご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

資源物（廃品）回収



環境部

【日時】5月8日（日）8時から
小雨決行。（当日雨天時は、5月22日に延期）
【集積場所】志免四公民館岩崎神社・各組合の指定場所
※ビール缶などは（アルミ、スチール）、プルタブを取って出してください。

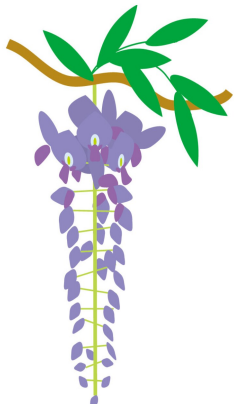
子育てサロン

福祉部

小さい子どもさんとその保護者の方、公民館で一緒に楽しく過ごしませんか。昼食も準備しております。

午前中は移動図書館もあります。一般の方もご利用ください。小さいお友達をお誘いしてご参加ください。

【日時】5月10日（火）午前10時～午後3時
【場所】志免四公民館



4月12日の子育てサロンは城戸公園で3組の親子さんの参加で桜はもう終わっていましたが、フジの花を見ながら楽しく過ごしました。

新入生歓迎会

育成部

【日時】5月14日（土）9時～12時

【場所】志免町民体育館

▼参加対象者
小・中学校の新入生と在校生、その保護者。

未就学児は保護者同伴に限りです

準備する物

水筒、タオル、上靴、名札

▼内容等

ビンゴゲーム、各種おもしろいゲーム



ふれあいいきいきサロン

福祉部

高齢者が集い、心身の健康と親睦を図る趣旨で軽体操やレクリエーション等を行います。

【日時】5月21日（土）10時～13時
【場所】志免四公民館

楽しく食べて語ろう会

*レクリエーション



*昼食を食進会で準備しています。

うきうきルーム

総務部

今回は、遊びリテーションを楽しく行います。軽体操を中心に、ころばないための身体づくりを行います。どなたでもご参加ください。



【日時】5月28日（土）10時～12時
【場所】志免四公民館

選手募集

体育部

会長杯一般バレーボール大会選手募集

【日時】6月5日（日）

【場所】志免町民体育館

▼参加対象者

中学生以上の女性を募集します。

【申込先】吉村体育部長

☎ 090・4487・8968

町民ミニバレーボール大会選手募集

【日時】6月19日（日）

【場所】志免町民体育館

▼参加対象者

中学生以上の男性と女性を募集します。

【申込先】吉村体育部長

☎ 090・4487・8968

端午の節句

現代では「こどもの日」として祝われる5月5日。この日はもとも五節句の端午の節句にあたります。端午の端は「はじめ」という意味で、「端午（たんだん）」は5月最初の午（うま）の日のことでした。それが、午（こ）という文字の音が五に通じることなどから、奈良時代以降、5月5日が端午の節句として定着していきました。



江戸時代に入り、勢力の中心が貴族から武家に移るとともに、「菖蒲（しょうぶ）」の音が、武を重んじる「尚武（しょうぶ）」と同じであることから、「端午の節句」は、「尚武（しょうぶ）」の節句として、武家の間で盛んに祝われるようになりました。この節句は、家の後継ぎとして生れた男の子が、無事成長していくことを祈り、一族の繁栄を願う重要な行事となつたのです。3月3日のひなまつりが、女の子のための節句として花開いていくのに呼応するように、5月5日の端午の節句は、男の子のための節句として定着していきました。